

## 「結（ゆい）の杜 ～つながるいのち、つながる愛～」

2018年、「三陸鉄道ハート♡ステーション in 仙台うみの杜水族館」の初開催記念として制作しました。

「うみの杜」で暮らす動物たちの織りなす「いのちのつながり」、また震災や災害復興のリード役として活躍する鉄道が結び合い、生み出すのも「いのちのつながり」。ふたつの「つながりあい」が伝えるものは、いのちの温かさ、そして愛のかけがえのなさ。一見相反するものが出会い、新たな共鳴（ハーモニー）を生み出すことの挑戦に臨んだ一作です。

「うみの杜」で暮らすかわいらしい動物たちの個性と、自らが日々動物に接する中で感じた思いを余すことなく、同水族館のトレーナーである木村美香が色鉛筆で描き、また、それぞれの地域で希望となって走る列車を、描き鉄の小松大希が可愛い姿に変身させ描きました。作品は、館内の「内湾のうみ」のほか、JR白石蔵王駅等で展示いただいています。

現在、外出自粛が続く、そしてうみの杜水族館がお休みとなり、うみの杜の動物にも、鉄道にもなかなか触れ合いが出来ない日々が続いていますが、その間でも、少しでも皆さんに触れ合う機会を、そしてエールを届けることが出来ないかと考え、今回この作品を「ぬり絵」にしました！（ぬり絵用リメイクに当たり、飯坂電車は新車両の1000系となりました）。ぬり絵を通じて、今まで気づかなかったうみの杜の動物たちの魅力や新しい可愛さにも発見できるかもしれません。また、鉄道にも車両ごとのデザインという個性があり、そこから新しい魅力を発見できるかもしれません。

水族館再開までの間、このぬり絵をお楽しみいただき、再開後は是非気になった動物たちに会いに来てくださいね。

また、鉄道もデザインは「個性」あふれています。地域の鉄道も試練に見舞われていますが、また再び旅行が出来るようになった時は、気になった鉄道に乗ってみて、応援してください。

この時、この日も、みんなつながりあっています。

ともにまた笑顔で会える日まで、このぬり絵でつながりあえればうれしいです。

描き鉄集団「ロコ」 小松 大希

※原画およびぬり絵原稿の著作権は、作者および仙台うみの杜水族館に帰属しますので、二次配布や 改変・流用はできません。